

# テック インフラ Tech Infraだより vol.4



2018年10月26日

## 巨大投資を誘引する「5G」 通信タワーのインフラなくして実現ならず

自動運転・遠隔医療等の前提となっているのが「5G」です。  
その普及のため、『通信タワー』の拡充が必須となっています。

### 通信タワーとは

モバイル端末等のデータ通信等に利用するために、通信企業が通信機器を設置するための鉄塔を指します。通信タワー企業は、一般的に鉄塔とその土地を保有しています。

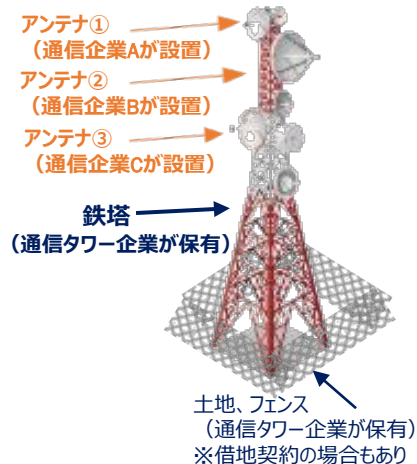
### 通信タワー企業の例

アメリカン・タワー(米国)は、米国内でワイヤレス通信および放送用タワーの保有、運営、開発に従事する企業です。一般通信サービス、携帯電話を含む幅広い無線通信業向けに共用アンテナ塔をリースしています。

### 5G進展による 収益拡大期待

5G(次世代超高速通信規格)の進展を背景に世界的に通信タワーの新規建築数の増加が見込まれており、通信タワー企業の収益拡大が期待されています。

### 通信タワーのイメージ



### ① 新規格対応のため タワー数の大幅増加 見込み

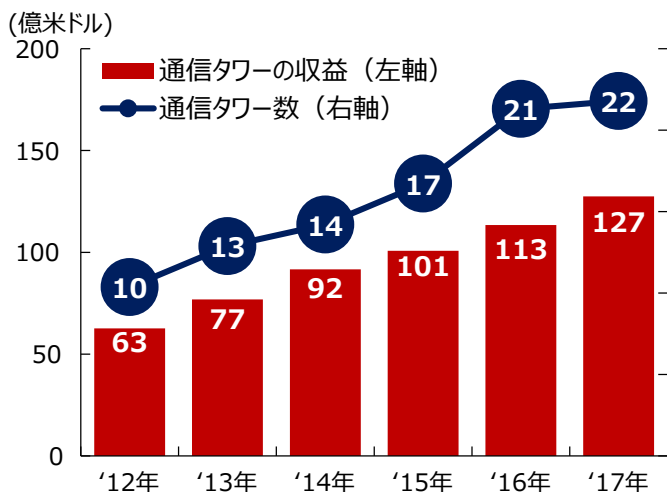
5Gの要求条件の一つとして超高速・大容量があげられます。通信容量を増やす方法は、周波数帯を拡大するか、アンテナを増やすしかありませんが、周波数帯域には限界があり、容易に拡大できるものではありません。従って、通信企業はアンテナ数を増やす必要がありますが、その設置スペースを提供するのが通信タワー企業なのです。

### ② 企業所有のタワーに シェアリング(相乗り)

通信企業は、5G進展によるビジネスチャンスを狙った新規参入による競争激化にさらされています。通信企業各社が自前でアンテナや基地局の数を増やすのではなく、費用負担削減の観点からシェアリングが進む可能性が高まっています。また、物件確保余地が限られていることや都市景観への配慮等もシェアリングの促進要因となっています。

### 米通信タワー大手3社の収益とタワー数の推移

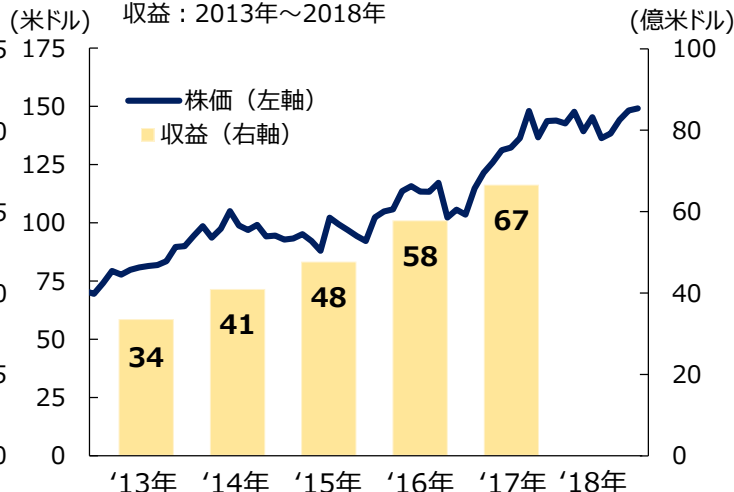
2012年~2017年



### アメリカン・タワーの株価と収益率の推移

株価: 2013年8月末~2018年8月末(月次)

収益: 2013年~2018年



(出所) ブルームバーグ、センタースクエアのデータを基にパインブリッジ・インベストメンツが作成  
\*アメリカン・タワー、クラウン・キャッスル・インターナショナル、SBAコミュニケーション

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会